

平成 28 年度第 3 回国立大学法人静岡大学長選考会議議事録

日 時 平成 28 年 9 月 23 日 (金) 16 時 22 分～17 時 25 分
場 所 事務局 4 階学長応接室
出席者 伊藤、岡部、塩田、杉田、今野、酒井、塩尻、三村の各委員
陪席者 伊東学長
鈴木、村松の各監事
前田事務局長、殿崎総務部長

議事に先立ち議長から、本会議佐古委員が学長適任候補者に推薦され、応諾したことにより、辞任(8月12日)されたこと、後任に教育研究評議会(9月21日)で三村委員が選出された旨説明があり、三村委員から自己紹介があった。

I 議事録の承認

平成 28 年度第 2 回国立大学法人静岡大学長選考会議(平成 28 年 6 月 24 日開催)議事録(案)を原案どおり承認した。

II 報告事項

1 学長選考会議委員の交代について

[冒頭議長から説明・資料 1 確認]

2 意向投票管理委員会の審議状況について

議長から、本会議の下に設置された標記委員会における審議状況について提案の後、事務局(白柳総務課副課長:以下略)から、当該委員会で審議、承認された学長適任候補者意向投票に係る事前投票の実施マニュアル及び本投票・開票・公示等の実施マニュアルについて、資料 2 に基づき説明があり確認した。

III 審議事項

1 学長の業績評価について

議長から、静岡大学長の業績評価に関する規則に基づく学長の業績評価について提案の後、伊東学長から、評価項目ごとの業績に対する自己評価の概要及び特筆すべき取組みについて、資料 3 の自己評価書に基づき説明があり、質疑応答を行った。

[主な質問事項等]

- ・学長の学内におけるコミュニケーションの状況
- ・大学院の改組
- ・アジアブリッジプログラム(ABP)の状況
- ・外部資金(科研費等)の採択状況

- ・組織改革〔教員組織と教育組織の分離〕
- ・国立大学法人法の改正とガバナンス改革を受けた大学運営
次いで、伊東学長から、次期学長候補者に求められる資質、能力及び望まれる学長像の私見について、発言があった。

2 次期学長適任候補者選考の手続きについて

(1) 学長適任候補者の選定について

議長から、学長適任候補者の推薦依頼の公示（7月1日）により推薦のあった3名〔石井潔氏、佐古猛氏、永津雅章氏〕の静岡大学長選考規則第7条に定める学長適任候補者の選定について提案の後、事務局から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、当該3名を学長適任候補者として選定した。

(2) 抱負等発表会の実施について

議長から、抱負等発表会の実施について提案の後、事務局から、資料5に基づき説明があり、発表会冒頭の挨拶について、浜松会場を塩田議長、静岡会場を塩尻副議長がそれぞれ担当することとし、併せて各選考会議委員の発表会への出席予定を確認した。

なお、当該抱負等発表会の開催に対する各部局の協力を得るための依頼文書について、審議の結果、原案どおり承認した。

(3) 学長適任候補者及び抱負等発表会の公示について

議長から、学長適任候補者及び抱負等発表会の公示について提案の後、事務局から資料6に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(4) 面接の実施について

議長から、学長適任候補者及び抱負等発表会の公示について提案の後、事務局から資料7に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(5) 学長候補者の選考方針について

議長から、学長候補者の選考方針について提案の後、事務局から資料8に基づき説明があり、意向投票の結果を参考とする選考方針について確認した。

IV その他

事務局から、次回会議の開催予定、抱負等発表会等、今後の予定について案内があった。

次回会議は、平成28年10月17日（月）〔面接終了後〕に開催することとした。〔場所：事務局大会議室 事務局棟5階〕

以上